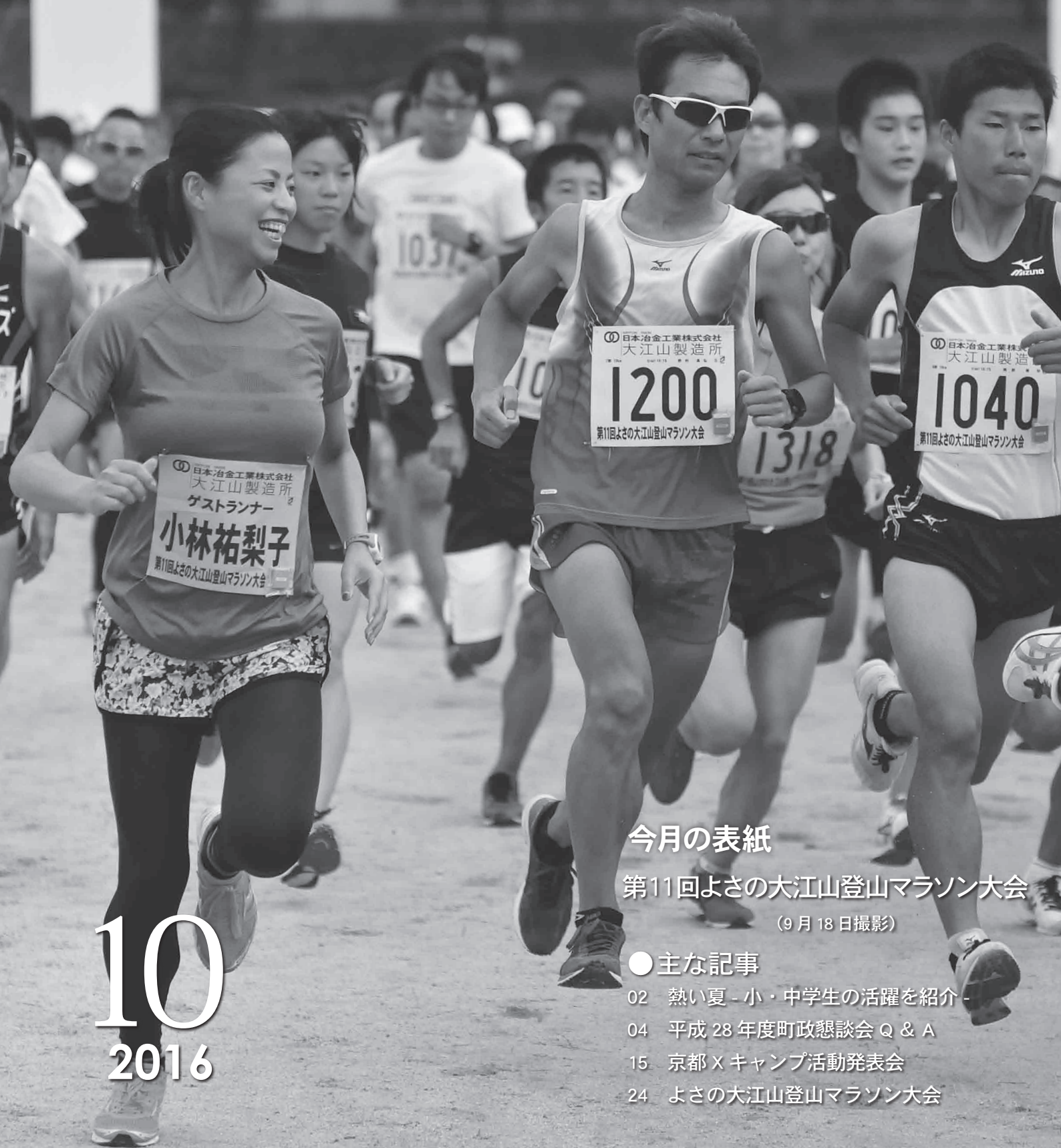


YOSANO

広報よさの

No.128



今月の表紙

第11回よさの大江山登山マラソン大会

(9月18日撮影)

●主な記事

- 02 熱い夏 - 小・中学生の活躍を紹介 -
- 04 平成 28 年度町政懇談会 Q & A
- 15 京都 X キャンプ活動発表会
- 24 よさの大江山登山マラソン大会

10
2016

全国や近畿の舞台で活躍した
小・中学生たちを紹介します。

ぼくたち、
わたしたちの

熱い夏

2016年度セーリングオプティミスト級
ヨーロッパ選手権国際大会 出場 (イタリア)
こばやし かな
小林 奏さん (橋立中3年)



全国大会出場常連の小林さんは、今年
はイタリアでおこなわれた国際
大会に出場されました。「初めての海
外で緊張したことと、いつもと違う海
面と風の中で競技をすることの難しさ
を痛感した。」と大会を振り返り、「来
年は高校生になり、競技での階級も変わる。
今大会での経験を活かして、環境の変化にも対応できるよ
うに意識しながら練習をして、また国際大会に出場したい。」と
来年に向けての意気込みも語ってくれました。

全国女子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会
2位入賞
むとう りえる
武藤 理恵瑠さん (橋立中2年)



昨年に続き、全国大会に出場した武
藤さんは、姉の活躍する姿を見
てあこがれ、背中を追うように競技を
始めたといいます。今年の全国大会を
振り返り「ベストの状態では挑めなかつ
たことが悔やまれる。来年は自己新記録
が出せるようベストの状態で見たい。ま
ずは、今後あるアジア選手権に中学生として唯一選ばれた責
任があるので、全力を出し、みんなに良い報告をしたい。」と
今後の大会に向け、決意を語ってくれました。

第32回全国小学生陸上競技交流大会
ボール投げ 出場
あおき ようすけ
青木 瑛祐君 (桑飼小6年)



普段は少年野球でキャプテンとして活
躍している青木君は、野球に加え
て、陸上教室にも参加しているスポー
ツ少年。今回は野球ではなく、陸上競
技で全国大会に出場しました。「初の全
国大会での緊張や普段は使わないジャベ
リックボールでの競技だったこと以上に、大
会直前に野球で肩と肘を痛めてしまったことで良い記録を出
せなかったことが悔しい。体調を管理する大切さがわかった
ので、今後に活かしたい。」と語ってくれました。

近畿中学校総合体育大会
水泳競技 50m・100m自由形 出場
おおた そうま
太田 壮優君 (橋立中3年)



5歳から水泳をはじめ、小学2年のと
きに競泳の世界に入った太田君は、
今年で3年連続の出場となった。「大会
前からスランプ気味でタイムが伸び悩
み、結果は満足のいくものではなかつ
た。」と振り返り、「来年は高校生になり今
とは環境が変わる。オリンピック金メダリス
トの萩野公介選手のような練習をし、インターハイ、国体と
出場し、将来はオリンピックの舞台に立ちたい。」と将来への
大きな目標を語ってくれました。



横断幕とともにポーズを決める江陽中学校バスケットボール部メンバー

近畿中学校総合体育大会
陸上競技 男子共通円盤投げ 出場
こいけ りくと
小池 陸斗君 (江陽中3年)



小池君は、中学校入学時に先輩のやっ
ている円盤投げの姿に感動し競技
をはじめたといいます。「1年生のと
きから近畿大会でベスト8に入りたい
と思っていた。念願の近畿大会出場だ
ったが、周りの空気に負けてしまった。」と
振り返り「江陽中の円盤投げ競技の後輩は一人。
一人でも練習をつんでいけば良い選手になるし、気持ちも強
くなる。自分もインターハイで好成績を残せるように努力し
ていく。」と後輩へのアドバイスと自身の飛躍を誓いました。

近畿中学校総合体育大会
バスケットボール男子 出場
やぶた はると
藪田 陽大君 (江陽中3年・キャプテン)



近畿大会に出場した江陽中バスケット
ボール部。キャプテンとしてチー
ムを引っ張った藪田君に今年の夏を振
り返ってもらいました。「近畿大会で
は滋賀県代表に負け悔しい思いをした。
自分は引退するが、全メンバーもこの悔
ししさはあると思う。江陽中バスケ部は高さ
はないけど、スピードに磨きをかけることで今より良いチー
ムになる。全国も夢じゃない。」と後輩へエールを送りました。

近畿中学校総合体育大会
陸上競技 男子共通砲丸投げ 出場
さかね そういちろう
坂根 宗一郎君 (江陽中3年)



吹奏楽部に所属し、剣道有段者の坂根君は、
2年時の校内陸上をきっかけに、砲
丸投げに興味を持ち猛練習の結果、近
畿大会出場を決めました。いつもと違
う競技に取り組んだ思いを聞きました。
「剣道の経験から腕力に自信はあったけど、
砲丸投げで使う筋肉は違った。そこで基礎体
力とフォームを身に付ける練習からはじめた。近畿大会では
緊張もあったけど、それ以上に競技の楽しさと今後も続けたい
という気持ちになった。」と語ってくれました。

CLOSE UP 熱い夏 夏がくれたもの

祝 天皇賜盃 第85回 日本学生陸上競技対校選手権大会 100mハードル (2位入賞)
なかむら ゆうき
中村有希さん (関西大学3年)



現在、関西大学で人間の健康に関して総合的に学習し
ながら、陸上競技でも華々しい成績を残した中村
有希さんに今年の夏の活動についてインタビューしました。
中村さんはお父さんの指導のもと、小学2年で陸上競技をはじめ、小学
4年のときにハードルに専念するようになり、今年でハードルを
はじめてから約14年。今年の大会(第85回日本学生対校選手権大会)
は、これまでの他のどの大会とも違う思いで臨んだといいます。
それは、今大会前に行われたオリンピック代表予選会でもある「日本選
手権」にピークを合わせてコンディションを整えていた矢先、連日の練習
による疲労から日本選手権前日にケガに見舞われ欠場を余儀なくされた
ことによります。このケガによる欠場は中村さんにケガ以上の痛手を負わ
せることとなり「一時はハードルを見るのでも嫌で、競技のことも考えられず、
グラウンドに出ることもできなかった」と当時の思いを話してくれました。
しかし、与謝野町でお父さんと共にした練習のこと、中学時代からのライ
バルで、プライベートでも仲の良い福部選手(日体大)との交流などを
通して、自分の中でのハードルの存在の大きさを再確認したといいます。

ケガにより一切試合に出ずに挑んだ今大会を振り返り「日本一苦しみ、日
本一時間をかけて調整をして努力もしていたが、ケガによって世界が一瞬
にして変わってしまった。そんな中、家族や友人の支えを感じ、気持ち
を立て直すことができた。こうしたいろいろな思いがある中で挑んだ大
会だった。望んでいた結果とは違うけれど、自分にとっては辛い経験の
なか得た2位なので感慨深い。今シーズンは一旦終わりにし、今は自分
の身体を休め、コンディションを整えたい。それと今回の経験を活かし
て、他人の身体と心を労わる方法をさらに学び、社会
福祉士としての実習に臨みたい」と語ってくれました。
中村さんにとって、今年の夏は記録や結果以上のものが
得られたようです。

1/大会でハードルを越える中村さん 2/互いの健闘を
称える二選手(右・中村さん) 3/表彰台に上がった三選
手での記念撮影(左・中村さん) 4/第85回日本学生対
校選手権大会記念メダル





すべての質問・意見と回答、および当日の配布資料は町ホームページまたは企画財政課・各庁舎でご覧いただけます。

今年度の新規事業である府民税を財源とする「豊かな森育成事業」による補助金の活用が可能と考えます。

Q 放置竹林は森林の保全、獣害対策にとって深刻な課題であると認識しています。竹林の整備につきましては、

A 今年度の新規事業である府民税を財源とする「豊かな森育成事業」による補助金の活用が可能と考えます。

Q 放置竹林対策をもっと真剣に取り組んでほしい。

A 放置竹林は森林の保全、獣害対策にとって深刻な課題であると認識しています。

Q 京都府で森林税（豊かな森を育てる府民税）の各市町村への交付は、人口と森林面積によって配分額が決定されています。京都府が持っている配分枠の確保に向けて、事業が採択されるよう提案を積極的に行います。

Q 森林税（豊かな森を育てる府民税）の各市町村への交付は、人口と森林面積によって配分額が決定されています。京都府が持っている配分枠の確保に向けて、事業が採択されるよう提案を積極的に行います。

Q 支援事業としてやってきました。平成27年度からは商工会会員以外の利用も可能として、効果はあると考えていますが、日々商工会織物業所等の声が

A これまでから商工会への支援事業としてやってきました。平成27年度からは商工会会員以外の利用も可能として、効果はあると考えていますが、日々商工会織物業所等の声が

Q 調整等支援事業補助金について、後継者不足対応になっっているのか。もう少し違う対策を練る必要があるのでは。

A これまでから商工会への支援事業としてやってきました。平成27年度からは商工会会員以外の利用も可能として、効果はあると考えていますが、日々商工会織物業所等の声が

Q ツールを活かすきれていないというところは確かです。番組を作る方は精一杯やっているのですが、時間的な制約もあり各課からの要望に対応できていないので意見としてお聞きしています。一年も前から言っていたにいてるのに申し訳ないです。

A ツールを活かすきれていないというところは確かです。番組を作る方は精一杯やっているのですが、時間的な制約もあり各課からの要望に対応できていないので意見としてお聞きしています。一年も前から言っていたにいてるのに申し訳ないです。

Q ものづくりの町というならなぜ、与謝野町の食品工業、繊維をTVでPRしないのか。一年前から言っているが、課同士の連携をしているのか。期待しているのもっと町民が見たいと言われるようなTVにしてほしい。取材をして地元の特産など町内の方にPRして、商工観光課は町外へPRしてほしい。

Q 町発信の最近の資料は横文字が多い。わかりづら

A 町発信の最近の資料は横文字が多い。わかりづら

Q 文字が多い。わかりづら

A 文字が多い。わかりづら

Q 他地区からも聞いています。国全体の傾向のよう

A 他地区からも聞いています。国全体の傾向のよう

Q 家庭、事業所でも紙のゴミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせしたところ、減るところが増えているかもしれないということも聞いています。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。

Q ミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせしたところ、減るところが増えているかもしれないということも聞いています。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。

A ミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせしたところ、減るところが増えているかもしれないということも聞いています。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。

Q 家庭、事業所でも紙のゴミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせしたところ、減るところが増えているかもしれないということも聞いています。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。

A ミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせしたところ、減るところが増えているかもしれないということも聞いています。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。

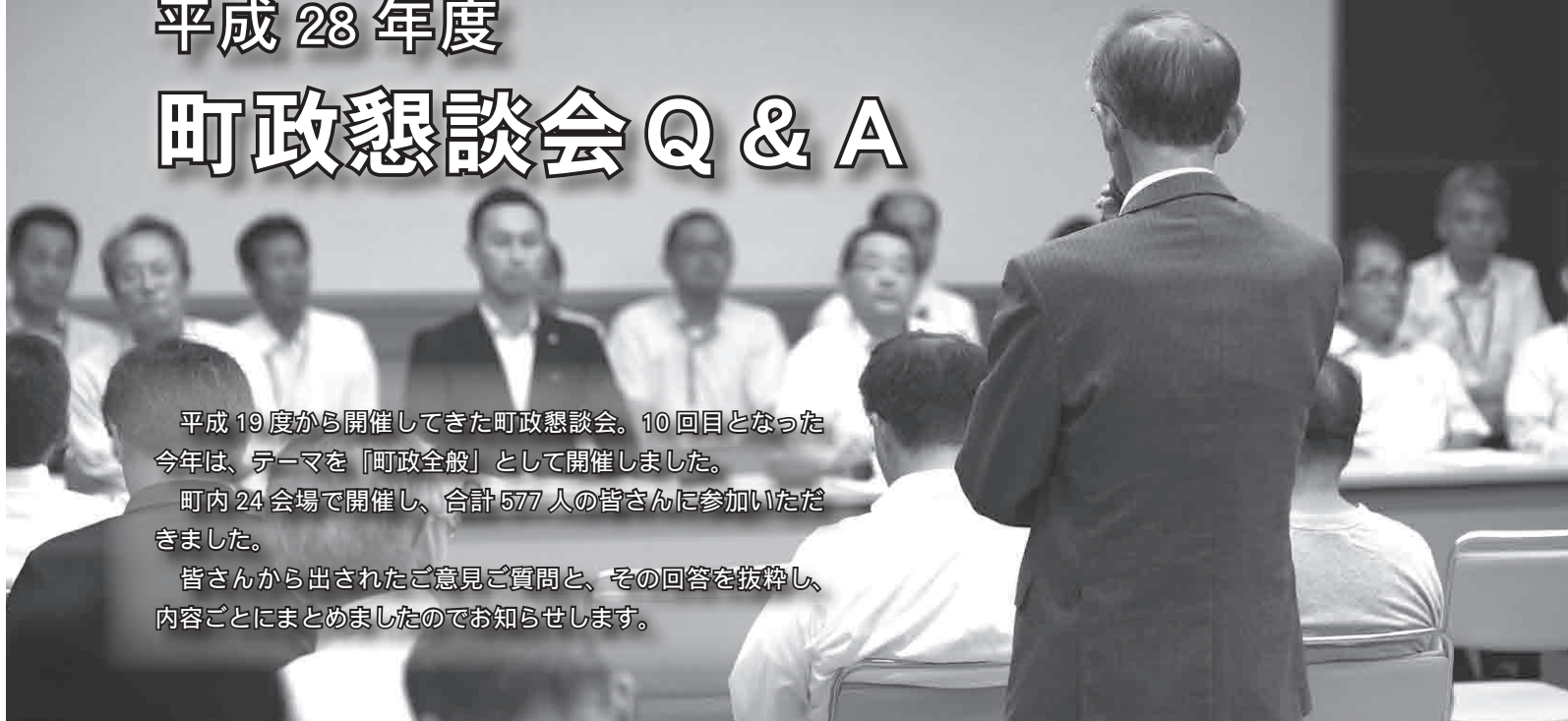
Q 家庭、事業所でも紙のゴミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせしたところ、減るところが増えているかもしれないということも聞いています。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。

A ミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせしたところ、減るところが増えているかもしれないということも聞いています。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。

Q 家庭、事業所でも紙のゴミを減らすため身近な対策を行っている。そこで、どの程度ゴミが減ったか町に問い合わせしたところ、減るところが増えているかもしれないということも聞いています。対策をされているにもかかわらず、なぜ減っていないのか教えてほしい。

特集

平成 28 年度 町政懇談会 Q & A



平成 19 度から開催してきた町政懇談会。10 回目となった今年度は、テーマを「町政全般」として開催しました。

町内 24 会場で開催し、合計 577 人の皆さんに参加いただきました。

皆さんから出されたご意見ご質問と、その回答を抜粋し、内容ごとにまとめましたのでお知らせします。

Q 福祉サービス等の人員が少ないため、即時対応してもらえず多くの待機者がいる状況だが、これについてどう思われるか。従事者の人材確保をしてほしい。

A 人員不足は承知しています。今年度、福祉の人材育成のため介護福祉士等の研修補助を検討しています。補助事業により、町外の福祉施設への人材流出も食い止めたいと思っており、人員確保のための環境改善に努めていきます。

Q 生活困窮家庭自立支援事業について、学校へ来れない方への対応か。

A 学校の O B ・ O G で N P O 法人が立ち上がり、平成 28 年度から家庭への支援をお願いしています。学校に行けない子どもや家庭への支援を行い、生保は福祉課、養育は子育て応援課で対応していきます。

Q 認定こども園はこの地域になじむのか疑問に感じ

A 野田川、岩滝には幼稚園と保育園があるが加悦には幼稚園

Q 今後、子どもたちが減っていく中でそれぞれの地域ごとに就学前の教育、保育という観点から各地域に認定子ども園を各一つ設置することを方針としていきます。今後地域ごとに入らせていただく中では、意見を聞きながら進めていく必要があると考えています。

Q 近年、近隣の自治体でも国保税の資産割の見直しが進んでいるように聞いている。資産割は低所得者には厳しいというところで段階的に減らしていくなど、当町でも運営協議会の中で検討していただきたい。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

A 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

A 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

A 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。

Q 都府南部地域で廃止しているところが多いです。北部でも市では廃止しているところがあり、今後なくせるかどうか協議していきます。



Q 区の消火栓の事だが、同じ消火栓で40年程経過しているものもある。区でも消火栓訓練をしたが、2人で持たなければいけないくらいの圧がかかる。そういった消火栓を使って初期消火をしなければならぬに危険な状態である。開けられない、閉められないという栓が増えてきているので変えて欲しい。また、格納庫とかホースの補充がもたらない。ある程度余

Q 区は消火栓の事だが、同じ消火栓で40年程経過しているものもある。区でも消火栓訓練をしたが、2人で持たなければいけないくらいの圧がかかる。そういった消火栓を使って初期消火をしなければならぬに危険な状態である。開けられない、閉められないという栓が増えてきているので変えて欲しい。また、格納庫とかホースの補充がもたらない。ある程度余

Q 意見を参考にしていきたいながら、住民の安心安全のために取り組んでいきます。

Q 高齢者が自転車で斜め横断して非常に怖い場面を目撃した。高齢者のための交通ルールの講習会（交通指導）はないのか。

A 高齢者の交通事故が一番多いという統計結果が出ています。子どもたちの交通指導はありますが、高齢者にはしていません。老人会の集まりなどで交通ルールやマナーを勉強していただく機会が作れないか交通安全対策委員会に意見として上げて連携していきたいと思っています。

Q 袋の製造費だけ負担してもらっています。

宮津市、京丹後市は事業系のごみは事業者による一定の負担をしてもらい、事業所専門の収集業者が清掃工場に運んでいます。与謝野町ではそのような体制になっていません。平成31年の新ごみ処理施設の建設に合わせて事業系ごみの処理のあり方を検討中ですが、収集業者にお願いで一定の負担をしてもよろしくとも考えています。

Q 空き家の件で、580件ほど空き家があると聞いたが、中には、空き家が半分以上倒壊しているものがある。地震が多く起きている近頃、地域の人が空き家の前を通るのは非常に危険。把握はされているか。また、町の方でなんとかできないのか。

A 空き家の関係については廃屋化したような空き家については総務課、活用可能な空き家については企画財政課が担当しています。

昨年空き家の特別措置法ができ、町が代執行で空き家を取り壊せるようになりました。しか

ことだった。どちらも同じ袋で、ごみ袋の製造費だけ負担してもらっています。

宮津市、京丹後市は事業系のごみは事業者による一定の負担をもらい、事業所専門の収集業者が清掃工場に運んでいます。与謝野町ではそのような体制になっていません。平成31年の新ごみ処理施設の建設に合わせて事業系ごみの処理のあり方を検討中ですが、収集業者にお願いで一定の負担をしてもよろしくとも考えています。

Q 空き家の件で、580件ほど空き家があると聞いたが、中には、空き家が半分以上倒壊しているものがある。地震が多く起きている近頃、地域の人が空き家の前を通るのは非常に危険。把握はされているか。また、町の方でなんとかできないのか。

A 空き家の関係については廃屋化したような空き家については総務課、活用可能な空き家については企画財政課が担当しています。

昨年空き家の特別措置法ができ、町が代執行で空き家を取り壊せるようになりました。しか

Q 合併後10年経過、この4月に岩屋小学校がやっと統合した。合併したら遅くとも5、6年で学校の統廃合は当然進めていくものだと思う。それが、小学校統廃合については、メリットがないとお考えなのか。

A 平成23年9月に、学校教育基本方針というのを教育委員会できるとして町長に提出しました。旧町ごとに1つの小学校

に再編するというもので、岩滝は岩滝小学校、野田川は市場小学校、加悦は加悦小学校というように既存の校舎を使って統廃合を進めるといいます。

それから数年が経ち、基本方針についても「子ども・子育て会議」に諮問して答申を受けて、諮問内容は平成34年度に一齐に統合するというものでしたが、「子ども・子育て会議」ではできることから統廃合を行うべきという答申を受けました。また、基本方針を示した平成23年度から期間が経っている中で、児童生徒数の変化等を踏まえて、基本方針の見直しを行いました。

今年の1月ごろから協議を行い、この4月に基本方針を作成し5月に町長に提出しました。内容は、加悦地域については平成34年度より早く統合できるといいます。ただ、野田川地域については子どもの減り方が鈍化しているため市場小学校への統合は困難であるということになっていきます。よって野田川地域については、数年後にもう一度検討することとしてまとめられています。

市場小学校については平成34年度にはちょうど建築後50年の

Q 自然と安全を守るまちづくり

Q 機構改革で防災安全課ができたが、災害対策マニュアルの整備は進んだのか。災害時のごみ分別など東日本や熊本地震の前例を参考に対策されたい。避難場所への看板の設置も区の努力も必要だと思ってお願したい。

A 対策マニュアルは町で定める地域防災計画の中にあるのですが未整理で計画を練る段階です。現在（町政懇談会開催期間中）、熊本に職員を派遣中であり、報告を受け、さまざまなことを参考にしたいと思っております。

し、それを受けて町がどのように仕組みづくりをしていくかというところが未整備です。したがって、法律ができて、町がすぐに代執行できるわけではありません。町が今できることは区と相談しながら、管理をしていくしかないと思っております。抜本的な解決にはなりません。所有者の了解のもとで、空き家の管理を町と地域とでさせていたでいるのが現状です。

Q また今年度、ごみ処理についての相互応援協定を結び、災害時には業者に協力を依頼する予定です。避難所看板については町指定の避難場所には設置済みですが、それより小さい単位については区で協力をお願いしたいと思っております。

Q 去年の防災訓練は、もつと、人数確認の書類も無いなど、内容が後ろ向きになった気がする。これならば隣組ごとに人数把握ができればそれでよいのでは。公民館に来ると逆に危ないような状況もある。

A 内容は去年と同じ訓練でした。区長会等で防災訓練について説明・お願いをして、要望があった区には別途職員が説明に行きましたが、区によっては職員の説明までは良いと言われたため行かず、統一ができなくなりました。反省点だと考えています。

基本は隣組の防災会議をもつていただくことが一番重要ですが、来年度以降の内容は未定ですが、隣組の防災会議はもってほしいと思っております。今後お願いしたい

Q ごみの有料化について、可燃ごみは有料化されるが、資源ごみは有料化しないのか。

A 調査により、可燃ごみの4〜5割が資源となる雑紙等であることがわかったため、分別して資源にすることにより、可燃ごみの全体量が減り、値上げ相当分がカバーできると考えています。この目標が達成できればごみの有料化はしないと、住民にも説明しています。

Q 地域でごみを拾ったとき、空き缶やペットボトルなどは自分で分別して捨てるが、弁当のごみなど、いろいろ混ざって汚く分別したくないも

がある。そうしたごみを拾ったときはどのような対応をすればよいか。

A 「ちよこつとボランティア」という制度があります。加悦庁舎、野田川庁舎、阿蘇シーサイドパーク管理等に「ちよこつとボランティア」が置いてあるので取りに来ていただいてその袋にごみを入れて持ってきていただくことでこちらで処理するものです。分別する必要はありません。

Q 事業ごみと家庭ごみは、同じごみ袋で出しているのか。有料化に向けて、家庭ごみと事業所と同様の負担になるのか。検討課題としているとの

ことだった。どちらも同じ袋で、ごみ袋の製造費だけ負担してもらっています。

宮津市、京丹後市は事業系のごみは事業者による一定の負担をもらい、事業所専門の収集業者が清掃工場に運んでいます。与謝野町ではそのような体制になっていません。平成31年の新ごみ処理施設の建設に合わせて事業系ごみの処理のあり方を検討中ですが、収集業者にお願いで一定の負担をしてもよろしくとも考えています。

Q 空き家の件で、580件ほど空き家があると聞いたが、中には、空き家が半分以上倒壊しているものがある。地震が多く起きている近頃、地域の人が空き家の前を通るのは非常に危険。把握はされているか。また、町の方でなんとかできないのか。

A 空き家の関係については廃屋化したような空き家については総務課、活用可能な空き家については企画財政課が担当しています。

昨年空き家の特別措置法ができ、町が代執行で空き家を取り壊せるようになりました。しか

し、それを受けて町がどのように仕組みづくりをしていくかというところが未整備です。したがって、法律ができて、町がすぐに代執行できるわけではありません。町が今できることは区と相談しながら、管理をしていくしかないと思っております。抜本的な解決にはなりません。所有者の了解のもとで、空き家の管理を町と地域とでさせていたでいるのが現状です。

Q また今年度、ごみ処理についての相互応援協定を結び、災害時には業者に協力を依頼する予定です。避難所看板については町指定の避難場所には設置済みですが、それより小さい単位については区で協力をお願いしたいと思っております。

Q 去年の防災訓練は、もつと、人数確認の書類も無いなど、内容が後ろ向きになった気がする。これならば隣組ごとに人数把握ができればそれでよいのでは。公民館に来ると逆に危ないような状況もある。

A 内容は去年と同じ訓練でした。区長会等で防災訓練について説明・お願いをして、要望があった区には別途職員が説明に行きましたが、区によっては職員の説明までは良いと言われたため行かず、統一ができなくなりました。反省点だと考えています。

基本は隣組の防災会議をもつていただくことが一番重要ですが、来年度以降の内容は未定ですが、隣組の防災会議はもってほしいと思っております。今後お願いしたい

期間がたち、耐用年数を迎えるということもあり、建て増しをするのか新しいものを建てるのかということも念頭に置き、もう少し期間がたつた後で検討することとしています。これは教育委員会の判断であって、町全体で公共施設マネジメントに取り掛かっていることで、そのことも踏まえて町としては検討していきたいと考えています。

Q 加悦谷高校の問題の現状をお聞かせいただきたい。

A 昨年の夏ごろ、京都府教育委員会が、特に丹後地域の子どもが減りが大きいということから話し合いがもたれました。例えば今の高校1年生が中学3年生の時には1000名をオーバーしていたのが、今年の3年生は900名ぐらいです。これが今の2歳の子どもたちですと600名代となります。ということは昨年の子どもたちから6割ぐらいに減っていくことになり、そうなるとう高等学校としての教育の質が低下していくということがあります。特に丹後地域で具体的な話しが聞きたというところで、府立高等学校在り方懇話会というのが2月の終わりから3回ありました。





うに聞いている。いまだにどっちを向いているのかはつきりしない。今の体制のままではいかれるつもりかをお聴きしたい。

A 庁舎統廃合については、現有の施設が老朽化によって使用できなくなったタイミングで、皆さんがアクセスしやすい新たな場所に、その時代に適合した庁舎を建設していくべきであると考えています。実現していくためには、長期的な目線に立った取り組みをしないといけないと思います。そのため、庁舎を建設するための基金を積み立てる取り組みを行っています。これは、長期的なビジョンですが、長期的な時点に至るまでにさまざまなことを行っていかなくてはならず、現在展開をまとめていくべく議論をしていこうとしています。今、お答えできるのは、現時点での取り組みと議論の状況です。

Q 空き家の具体的な活用政策について見解を示した方がよいのではないかと。

A 町が把握している585戸の空き家の約7割は、すぐに住めるか、簡単な修繕で居住が可能です。残りの約3割は廃屋化もしくは修繕しても居

育、義務教育課程、社会教育などさまざまな教育分野がある中で、全てを充実させていきたいと考えています。

そういった中で、ヨサノ大学の事業についても本格的に来年の春開校に向けて取り組みを進めている最中です。このヨサノ大学の目的は、「与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人材の育成」です。この目的を遂行していくために、どのようなカリキュラムを設定することがいいのかということについて、現在協議を進めています。今年度中に行っていくべきかと考えている状況です。

Q 現在は、加悦の図書室で申し込みを行うと、京都府下の公立図書館にある本を取り寄せることができる制度がある。加悦の図書室でも新しい本を入れていただいているのだから、今後新しい本が入るように、予算を維持して行ってほしい。

A 公立の図書館は、どこでも検索ができ、それを取り寄せて読んでいただける体制で行っています。議会でも読書

住が不可能なものです。町としてすぐに行っていくことは、すぐにも住める空き家の活用方法と廃屋化した空き家の対応方法、この二つを重点的に考えていく必要があります。すぐにも活用できる空き家は、現在空き家情報を取得し、空き家を望んでいる人たちに情報提供しています。廃屋化した空き家についても、地権者と連絡をとり対応しています。

Q 平成の大合併は何のために行ったのか。国の進めた大合併の目標に向けて、町は向かっていたのか。

A 小泉政権時代の三位一体改革により交付税・国庫補助が削減され、単独では生き残れなくなった市町村がスケールメリットを活かした行財政基盤の強化に加え、地方分権への対応等のため合併したと考えています。合併後10年間は交付税起債などの財政措置であるアメをもらっていました。国が補償している10年の間に、町として財政運営ができるように、ということでしたが、現時点ではまだまだ行政改革ができていないと認識しています。公共施設の整理も10年の間にやっておく必

要がありました。現在行っている状況であり、取り組みが遅れています。職員数を削減していくことについても、合併当初から50人あまり削減できていますが、人口100人あたり職員一人が妥当数だと考えると、まだ削減の必要があると思っています。しかし、公共施設が多く残っているため、難しいところもあります。

Q 合併10周年記念事業として3月に開催される郷土芸能祭について詳しく知りたい。

A 与謝野郷土芸能祭を計画中です。3月19日野田川わくわくばるにて予定しています。町内の67団体を選定してとなりませんが、内容や地域等考慮してお願いすることになると思っています。また、岩滝の大名行列を外でできないか調整をしています。

Q 香河地区では、ひまわりバスは貴重な交通手段になっていて、町の財政負担も大きく、交付税削減もあると思うが、残してもらい、地域の足として守ってほしい。

A ひまわりバスの運行については、交付税の減額など財政的には厳しくなってきました。

らの成果をあげたいと考えています。

Q 選挙で18歳、19歳が新たに投票権を得ることとなるが、当町では、どのくらいの人か。18歳になったら選挙に関心を持ってもらうための広報・行事を計画されてはどうか。

A 当町の新たに18・19歳となる人は約5000人あり、その方々を含め約1万9000人が有権者数となります。加悦谷高校において実際に投票行動を体験する模擬投票を行って啓発していますが、家族から投票を勧めていただくのが最も効果的と考えています。

Q 庁舎問題について、合併後10年がたっても、分庁舎方式で運営をされている。数年前に、検討委員会が設けられ、その結論として、総合庁舎として加悦庁舎が望ましいという結論が出たと聞いている。また、その時に与謝野町の中心は野田川なので野田川地域に新庁舎を建てるべきという意見も出たよ

おり、平成34年では年間マイナス7億9千万円くらいになります。平成35年では貯金もなくなります。将来見通しは非常に厳しいものです。平成21年から試験運行、平成24年から本運行、平成26年は6368人で年間利用が最高、平成27年は5987人で初めて減少しました。しかしこの地域での必要性は聞いています。

平成27年度の運行費用は998万7千円で、120万円が運賃収入、公費負担が880万円、うち300万円が国、500万円が町負担であり、厳しいですが、今のところはそのまま運行したいと思っています。バスが老朽化した時点で運行の存続も含めて運行方法を検討することになります。

Q ふるさと納税の額はいろいろあるが、ふるさと納税の返礼品等で地域活性化となっている地域があるが、本町はどうか。

A 昨年度は、408万7千円のふるさと納税があり、返礼品はその3割とされています。返礼率の高い自治体もあります。返礼率の低い自治体も返礼率が指導されています。



町内でも各界から意見をいただこうと意見交換会をもって、町長をトップにいろいろと話して聞かせていただいていた現在に至っています。

6月の第3回懇談会で、今までどおり丹後地域5校を本校として残す案、もしくは、京都府教育委員会としては1学年8学級、1校1000名弱の学校を理想としているので、丹後地域には2校でいいとする案が出ています。もう一つはキャンパス制ということで、新しい学校として名前を付けて、例えばこの地域だと宮津キャンパス、加悦谷キャンパスといった形で同等の高等学校を作っていくという案を現在京都府教育委員会が示しているもので、今後、9月頃に案が出されることになっています。

Q 町長がヨサノ大学のことをお聞かせいただきましたが、詳細を言われましたが、地域や国を作っていくことについて最も重要であると感じているのが、教育であると感じています。教育をこの地域において、どのようにすれば充実するようになるのかと考えてきたところです。就学前教

育、義務教育課程、社会教育などさまざまな教育分野がある中で、全てを充実させていきたいと考えています。

そういった中で、ヨサノ大学の事業についても本格的に来年の春開校に向けて取り組みを進めている最中です。このヨサノ大学の目的は、「与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人材の育成」です。この目的を遂行していくために、どのようなカリキュラムを設定することがいいのかということについて、現在協議を進めています。今年度中に行っていくべきかと考えている状況です。

Q 現在は、加悦の図書室で申し込みを行うと、京都府下の公立図書館にある本を取り寄せることができる制度がある。加悦の図書室でも新しい本を入れていただいているのだから、今後新しい本が入るように、予算を維持して行ってほしい。

A 公立の図書館は、どこでも検索ができ、それを取り寄せて読んでいただける体制で行っています。議会でも読書

推進という話しも出ており、読書ノート（読書手帳）を配布させていただけるとな計画を行うことで、読書好きな子どもたちを増やしていこうという努力をしているところです。

予算につきましても、維持に努めたいと思いますので、ご支援をいただきますようお願いいたします。

Q 少子化で小中のスポーツが、特にチームスポーツがむずかしくなっています。何か町からもバックアップができればいいと思います。

A 子どもたちのスポーツについては、個人種目も団体種目も含めてジュニアスポーツ連絡協議会を通じて支援をさせていただきます。今後もジュニアスポーツ連絡協議会を通じて支援を行う予定です。

Q アベリスツイスとの数十年前にわたる人的交流は、単なる交流か。産業交流できているのか。

A 高校生の交流には長い歴史があります。平成27年に大学との連携協定を結び、アベリスツイス大学との交流を開始し、産学連携的な事を模索しています。協定期間中に何かし

協働で進めるまちづくり

選挙で18歳、19歳が新たに投票権を得ることとなるが、当町では、どのくらいの人か。18歳になったら選挙に関心を持ってもらうための広報・行事を計画されてはどうか。

A 当町の新たに18・19歳となる人は約5000人あり、その方々を含め約1万9000人が有権者数となります。加悦谷高校において実際に投票行動を体験する模擬投票を行って啓発していますが、家族から投票を勧めていただくのが最も効果的と考えています。

Q 庁舎問題について、合併後10年がたっても、分庁舎方式で運営をされている。数年前に、検討委員会が設けられ、その結論として、総合庁舎として加悦庁舎が望ましいという結論が出たと聞いている。また、その時に与謝野町の中心は野田川なので野田川地域に新庁舎を建てるべきという意見も出たよ

地震に対する備えは大丈夫ですか？

今年4月に熊本地方を襲った大地震（熊本地震）は、日本が地震列島であることを改めて知らせてくれました。熊本県上益城郡では、4月14日M6.5の地震と、16日のM7.3の地震で、震度7の揺れが2度観測されました。地震を防ぐことは不可能ですが、日ごろの心がけで被害を少なくすることはできます。今月号では、普段から取り組むことのできる地震対策をご紹介します。

●家庭でできる地震対策

- ▶家具の転倒を防ぐ
家具は床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具等で固定しましょう。タンスの奥の方（壁側）で天井や家具の硬いところに取り付けをしましょう。上下に分かれている家具は連結しておきましょう。
- ▶本の落下防止
重い本は下の段にしまい、本棚の端の硬い部分にひもやベルトなどを取り付けて、中の本が飛び出さないようにしておきましょう。
- ▶食器やガラスの飛散防止
観音扉になっている食器棚は扉が開かないように留め金を。扉がガラスの場合は、ガラスに飛散防止フィルムを張っておきましょう。
- ▶テレビを固定
テレビやパソコンなどの家電は、下に耐震マットを敷いて転倒を防ぎましょう。
- ▶窓ガラスの飛散防止
窓ガラスは強化ガラスに替えたり、飛散防止フィルムを張ったりしましょう。



●まずは整理整頓

家具の転倒や荷物の散乱は、けがにつながるだけでなく、避難路をふさいだり、コンロやストーブの火が燃え移ったりしかねません。転倒防止器具などの活用や、余計なものを置かない暮らしが、命を守ることに繋がります。

●避難を見越した対策も

割れたガラスなどが飛び散ることに備え、寝室に運動靴やサンダルがあると安心。両手が自由になるヘッドランプや、閉じこめられた時に助けを呼ぶためのホイッスルは、家族全員の枕元にご用心を。

●消費しながら買い足す「回転備蓄」

各家庭で1週間分の水や食料の備蓄が必要とされています。1週間分はかなりの量になるため、普段食べる食材や飲み物を多めに買って置き、消費した分だけ買い足す「ローリングストック（回転備蓄）」が注目されています。冷蔵庫の製氷室を常に満杯にしておき、非常時には解かして飲料水にすると工夫も有効です。備蓄すべきなのは、飲食物だけではなく、電池やカセットコンロ用ボンベ、ろうそく、使い捨てカイロなども必要になります。また、子供や高齢者がいる家庭では、衛生面に配慮してウェットティッシュや消毒液を多めに用意し、ペットのいる家ではペットフードを買い置きするなど、家庭の特徴に応じた備えが必要になります。



目は外からの情報を得るための大切な器官ですが、日々の生活の中で、知らず知らずのうちに疲れています。近年、テレビのみでなくパソコンやスマートフォンなどの画面を長時間見続けることで、目の疲れを感じる人が多くなってきています。

●疲れ目の症状

- 主に、「目の使いすぎ」によって起こります。次のような症状は、目からの注意信号です。
- ▼目が疲れている、乾いていると感じる
- ▼目やにが出る
- ▼目がかすむ
- ▼視力が低下してきた
- ▼物が見えにくくなってきた
- ▼肩や首がこりやすい

●疲れ目の原因

長時間におよぶパソコン、スマートフォンの使用や、手先の細かい作業をすることで、目に負担がかかってしまいます。この場合は目を酷使するだけでなく、画面や手先を凝視することでまばたきの回数が減り、目が乾いた状態になりやすく、さらに目が疲れやすくなります。また、眼鏡やコンタクトレンズ



●疲れ目をとまなう疾患

ドライアイ

目を酷使したり、乾燥した室内に長時間いることで、目の表面を潤している涙が蒸発したり、分泌量が減って、角膜が乾燥します。その結果、角膜に供給される酸素

の度が合っていないなかったり、老眼による目の見えにくさでも、目の細胞や筋肉に疲労が溜まり、疲れ目の原因となります。

や栄養素が不足し、目の疲れやかゆみ、ゴロゴロとした異物感、充血などのトラブルを引き起こします。

白内障

加齢などが原因で、レンズの役割をする目の水晶体が濁った状態です。水晶体は濁ると元に戻りません。進行するに従って、老眼鏡をかけても細かい文字が読めなくなり、霧がかかったように視界が黒くかすみ、ぼやけて二重三重に見えるたり、光がまぶしいなどの症状があらわれます。

緑内障

眼圧が上昇することで、目の神経に障害が起きるのが緑内障ですが、最近では眼圧に異常が見当たらない正常眼圧緑内障も増えていきます。視野の一部が欠けたり、光の周りに虹が見えたりする視界の異常のほか、疲れ目や強い目の痛み、頭痛や吐き気などの症状が出ます。しかし、自覚症状がない場合も多くあります。

●目の健康維持のために...

まずは目の休憩と規則正しい生活を心がけ、目をいたわりましょう。

- ▼食事と休養をしっかりとる
 - ▼長時間作業する場合は、1時間おきに10分程度、目を休める
 - ▼疲れがたまってきたときは、蒸しタオルなどで目を温めてリラックスをする
 - ▼眼鏡やコンタクトレンズを使用している場合は、度が合っているか定期的に確認する
 - ▼緑黄色野菜や果物などを食べて、目に良いビタミンを積極的に摂取する
- 以上の点に気をつけていただくほかに、日光を直接目に浴びることも、目にとっては強いダメージとなり、疲れ目だけでなく、白内障などの発生リスクが高まります。まだまだ日差しが強い時期です。外で活動する際は、サングラスを着用するなどし、紫外線から目を守りましょう。



目標を持つことは大切だと思います。私が中学生のとき、ある先生から「人生で成功するためには目標を持ちなさい」とよく言われました。しかし、私が大学生のとき、哲学の先生から「目標は大切ですが、目標のことだけを考えると幸せにはなれません」と言われました。そのときの私は成功できれば幸せになれると考えていたため、その先生の言うことを信じませんでした。

日本語と日本の文化について学ぶことを目標に、大学卒業の数ヵ月後に日本を訪れました。しかし、困ったことが起きました。日本語の上達は、JLPTという試験で測ることができますが、日本の文化を学ぶことができません。中学生のときからずっと、全ての教科でトップの成績を取ることや、スピー



お気に入りのレストランで友達と食事をしました (右手前から2番目が筆者)

チコンテストで勝つことなどが私の目標でしたが、日本に来た後はそのような目標が何もありませんでした。ここにはテストも、成績も、学校も、何もありませんでした。私は学生時代の目標がある生活を恋しく感じ、いつも忙しくするよう努めました。日本で暮らし始めた最初の年の終わりに、私は弓道に出会いました。弓道にはたくさんの審査や大会があり、学生時代の目標を目指す生活と同じような雰囲気でした。他にも私は茶道、琴、和食の作り方を学んでいたため、この頃はとても忙しかったです。

しかし、毎日忙しい生活をおくることは幸せではありませんでした。友達にも1ヵ月に1、2回ぐらいしか会えません。そのため、私は生活のバランスを取る必要があると考えましたが、習い事も辞めたくなかったので全部続けました。結果として解決はしませんでした。そうしているうちに、私の日本での生活は3年目になり、私は京都府のALTにとって先輩になり、彼らが何か問題を抱えたときに相談に乗るようになりました。相談のときにはいつも「自分の目標と経験したいことのバランスが大切で、たくさんのことをやり過ぎると、すぐに疲れるので無理しないように」と言っています。私は後輩を助けているうちに、やっと私が大学で言われたことを理解できました。

目標を持つことや成功することはとても大切ですが、それよりもっと大切なことがあります。それは、生活を楽しむことや自分の周りにいる人々と楽しい時間を分かち合うことです。私は日本でたくさんの素敵な友達に出会うことができました。今年は私が与謝野町のALTとして過ごす最後の年です。私にはまだまだたくさんの目標があります。日本語の上達や弓道4段への挑戦もですが、最も大切な目標は、日本で出会った友達と出来るだけたくさんの時間を分かち合うことです。私は、与謝野町で過ごす最後の1年を大いに楽しみ、幸せな思い出をたくさん作りたくと願っています。

目標を持つことや成功することはとても大切ですが、それよりもっと大切なことがあります。それは、生活を楽しむことや自分の周りにいる人々と楽しい時間を分かち合うことです。私は日本でたくさんの素敵な友達に出会うことができました。今年は私が与謝野町のALTとして過ごす最後の年です。私にはまだまだたくさんの目標があります。日本語の上達や弓道4段への挑戦もですが、最も大切な目標は、日本で出会った友達と出来るだけたくさんの時間を分かち合うことです。私は、与謝野町で過ごす最後の1年を大いに楽しみ、幸せな思い出をたくさん作りたくと願っています。

時の贈り物 [第87回 天空に吠える 虎の襖絵]

右側の二面に岩の上で四肢を踏ん張り、空に向かって咆哮する虎を描いています。左半分には張り出す枝や波しぶきをわずかに描くのみで余白を多く取り、荒れ狂う海と空の様子を想像させます。岸駒は岸派の創始者となった画家で虎を得意とし、岸駒以降、虎図は岸派代々のお家芸とされました。本図が描かれた文政十一年当時の日本に動物園はなく、生きた虎を見ることは出来ませんでした。しかし岸駒は中国から虎の頭蓋骨や足などの実物標本を入手し、虎の形態を熱心に研究したと



岸駒筆「波濤に岩上咆虎図」文政十一年(一八二八) 紙本墨画 襖四面 与謝野町指定文化財

ちりめん街道・旧尾藤家住宅の奥蔵に残されていたさまざまな襖絵の中から、江戸時代の京都で活躍した画家、岸駒(1756~1839)が描いた「波濤に岩上咆虎図」(与謝野町指定文化財)を紹介します。右側の二面に岩の上で四肢を踏ん張り、空に向かって咆哮する虎を描いています。左半分には張り出す枝や波しぶきをわずかに描くのみで余白を多く取り、荒れ狂う海と空の様子を想像させます。岸駒は岸派の創始者となった画家で虎を得意とし、岸駒以降、虎図は岸派代々のお家芸とされました。本図が描かれた文政十一年当時の日本に動物園はなく、生きた虎を見ることは出来ませんでした。しかし岸駒は中国から虎の頭蓋骨や足などの実物標本を入手し、虎の形態を熱心に研究したと

いいます。縞模様で強調された背の筋肉の盛り上がりや荒々しい表情などに、その片鱗がうかがえないでしょうか。岸駒の虎の襖絵は、江山人庫で開催中の企画展「与謝野動物園」でご覧いただけます。(与謝野町教育委員会)

図書館へ行こう!

いざ、戦国時代へ

現在放送中のNHK大河ドラマをはじめ、個性的な武将たちが活躍する戦国時代は、歴史書や小説の題材として高い人気があります。戦国時代をもっと知りたい方へおすすめの本をご紹介します。



『日本の刀剣 エピソードや見どころでわかる日本刀の入門書』エイ出版社
ゲームの影響からか、今日本刀が静かなブームだそうです。戦国武将が愛した名刀をエピソードとともに鑑賞のポイントなども紹介。日本独自に進化した刀剣を美しい写真とともに解説し、タイトルのとおり日本刀の魅力を学ぶ入門書となっています。



『戦国武将を診る 源平から幕末まで、歴史を彩った主役たちの病』早川智目/朝日新聞出版
武田信玄や太谷吉継、そして織田信長と戦国の世を行き抜いた武将たちも、病気に苦しめられていた?現役の医学部教授が現代医学の観点から、歴史に残る彼らの行動を通してその謎に迫ることで、新たな人物像を浮かび上がらせます。

『真田幸村 (コミック日本の歴史 戦国人物伝)』

加来耕三・すぎたとおる/ポプラ社
ドラマ「真田丸」の主人公である真田幸村の一生が、小学生でも分かりやすく読める学習マンガになりました。真田家の行く末についても簡潔な年表にまとめられています。謎が多いとされる真田幸村についての基礎知識もこれを読めばバッチリ。



『白狐魔記 戦国の雲』

斉藤洋・高島純/偕成社
不老不死と人間に化ける術をもつ仙人ギツネの白狐魔丸が、歴史上の英雄たちとつむぐ時空を越えた物語の4巻目にあたるこの本では、織田信長を師匠の仇として狙っている少年と山で出会います。『ルドルフとイッパイアッテナ』の著者が送る壮大なファンタジーをお楽しみください。



雑誌リサイクルのお知らせ

図書館で保存期限が切れた雑誌をリサイクルとして皆様にお譲りします。※先着順、なくなり次第終了
平成24年9月から平成25年8月末までに図書館で購入した雑誌62種類820冊(予定)を期間中お1人様3冊までお譲りします。お渡しする際には図書館カードを呈示いただけます。
※電話等での予約・取り置き・交換は受付られません。雑誌タイトル等詳細は館内掲示ポスターおよび図書館ホームページでご確認ください。

- [本館] 10月28日(金)~11月3日(木)
 - [加悦] 11月12日(土)~17日(木)
 - [野田川] 11月5日(土)~10日(木)
- それぞれ開館時間中(午前10時~午後6時)

Info 図書館おはなし会

- [本館] 11月5日(土) 午後3時~
- [加悦] 11月12日(土) 午前10時30分~
- [野田川] 10月15日(土) 午前10時30分~ (紙芝居の日)

一般書 ●『総理』山口敬之/幻冬舎 ●『人もペットも気をつけたい園芸有毒植物図鑑』土橋豊/淡交社 ●『子どもとイベントで使えるカプリモノ紙工作』チャッピー岡本/小学館 ●『朝からスキャンダル』酒井順子/講談社 ●『これから戦場に向かいます』山本美香/ポプラ社 ●『どうなっている?だめん図鑑』断面マン製作・監修/小学館 ●『時間の女神のティータム』あんびるやすこ/ポプラ社 ●『おばけのパケロンおばけがっこうへいこう!』もとしたいづみ/ポプラ社

10月27日~11月9日は読書週間 「いざ、読書。」
趣味は読書という方も、ちょっと本を読むのは苦手という方も、年に一度の読書週間に「いざ!」と、本の世界へ出発しませんか?思いがけない発見や感動があなたを待っていますよ。

江山人庫読書会 与謝野晶子の童話を読む 第54回「わるもの鳥」
■日時 10月28日(金) ※毎月第4金曜日 午後1時30分~3時
■お問い合わせ先 江山人庫 ☎43-2180

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
●開館時間/午前10時~午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

京都Xキャンプ活動発表会

古民家を拠点に与謝野町を盛り上げる

これまでも「広報よさの」で、その活動を紹介させていただいてきた京都Xキャンプ。今年も8月8日から9月7日にかけて「夏キャンプ」が実施されました。京都Xキャンプは、関西の大学に通う大学生たちが年間を通じて与謝野町を訪れ、夏季・冬季の休暇には与謝野町(滝・金屋地区を中心)に約1ヵ月ずつ滞在し、地域の方と協働して地域の活性化を進めていこうとする取り組みで、今年で活動5周年目を迎えます。

2012年にスタートし、様々な活動を行ってきた京都Xキャンプですが、これまでは活動拠点となる場所がなく、町内の公民館などを拠点としていました。本年度からは、地域住民とより密接な関係を築きたいという学生たちの思いから、滝・金屋農業振興会が空き家を見つけ、学生たちが腰を据えて活動できる拠点へと提供されました。

活動拠点となったのは、木造2階建てで広い間取りの古民家。まずは総がかりで掃除に取り掛かり、交流カフェの運営などを通して、近隣住民に新しい活動拠点のアピールをしました。

9月3、4日(土・日)にかけて行われた「夏キャンプ」の活動発表会の模様を紹介します。今年は「山守」「旅守」「食守」「育守」「技守」の各分野で活動した学生たち。



発表会当日は、時折天気の良い様子が覗かれましたが、子どもたちとの川遊びのワークショップも無事に開催することができました。子どもたちも育守担当の学生と野田川に入り、自分の手で生き物を捕まえ、自然のなかで活動する楽しみを堪能しました。古民家では、パネル展示のほかに、地域で採取した植物を使った草木染の体験、山守の活動から派生したジビエラーメンの試食会など、今年から新たに取り組みはじめたプロジェクトも紹介され、盛りだくさんの内容になりました。夕方から行われたステージ発表では、古民家が持つ懐かしさと温もりを上手く利用して、与謝野町の人と地域の温かさを見事に演出し、「夏の活動」についてそれぞれの想いを地域の方に報告しました。



【各分野の活動概要を紹介します】

- ▶山守：鳴滝の森ひろばでのツリーハウス建設や、獣害対策でとれた鹿の再資源化への取り組み。
- ▶旅守：今年から拠点となった古民家の整備と古民家 cafe の運営、ほか旅行者向けのマップづくり。
- ▶食守：与謝野町産の野菜を使い、生産農家さんと商品の共同開発。(今年はトマトを使った出汁作り)
- ▶育守：自然体験を通して、子どもたちに山・川・生き物を身近に感じてもらい、郷土愛と自然への理解を育む。
- ▶技守：町内に生育する植物から草木染めを行い、与謝野町を自然の色で表現する試み。

1/活動発表会を終え参加者全員での記念撮影 2/川遊びに参加した子どもと何が獲れたか観察 3/草木染ワークショップで作ったものの仕上がりを確認 4/納戸を利用したパネル展示スペース 5/ジビエラーメンを試食した方々の感想 6/拠点となった古民家の外観 7/食守分野担当の大野真君による発表 8/総合プロデューサー片木孝治氏による発表会講評の様子

●岩滝小学校 動物愛護教室

動物とふれあい、命の尊さを学ぶ

岩滝小学校の1年生(48名)・2年生(56名)を対象に動物愛護教室が9月14日に行われました。教室では、動物愛護センター職員から犬の習性・特徴の講習が行われ、出合った時、追いかけた時の対応方法を犬のカイクんとともに実践しました。教室後半には、ウサギやモルモットとふれあい、聴診器を使って心音を聴く体験をした児童たち。ウサギやモルモットの心臓の鼓動の早さに驚き、自分や友達の心音を自発的に聞き、動物と比べて「早い」といった声が多くあがっていました。

動物と実際に触れ合うことで、動物と人とは接し方に違いがあることを学んだことによって、命の大切さを再確認する教室となりました。



職員の指導のもと犬とふれあう岩滝小の児童

●三河内小学校 アナウンサーから学ぼう

話すことを意識し、ことばに広がり

9月26日、三河内小学校で話しのプロであるKBS京都放送の現役アナウンサー梶原誠さんによる「話すこと」の講習が行われ「ことば」について学びました。

児童たちは、恥ずかしがらず「大きな声で、思い切り、終わりはみんなで拍手」という梶原さんからの「3つの『お』」の約束通り、はっきりとした声で発声練習を行い、大きな声を出すことの気持ちよさを楽しんでました。

身振りなどを加えて話すことで「ことば」だけではない「表現」で相手へ伝えることの大切さも学びました。



大きく口を広げて元気に発声練習

まちの話題 お届けします



●宿泊型体験婚活イベント第4弾 与謝野 de 婚活 2016 秋

自然の中でアクティブ婚活

9月17日から9月18日にかけて与謝野町森林公園と野田川ユースセンターで宿泊型の婚活イベントが開催され、与謝野町在住の男性14名と町内外から12名の女性が参加されました。お互いが知らないもの同士、まずは距離を縮めるために伝言ゲームやグラウンドゴルフ、夕食でのパーベキュー準備などで参加者同士が親睦を深め、1日目の締めとして参加者全員で花火を行いました。2日目には、与謝野町で馴染み深い「糸巻き」を使って、糸巻き和紙ランプを協力し合いながら制作し、カップルになった際のイメージを掴んでいる様子でした。

今回のイベントでも8組がカップルになり、他の参加者も連絡先を交換し、今後の展開につなげていました。



花火を通して互いの距離をさらに縮めました

●加悦小学校 小林祐梨子陸上教室

子どもも大人も体幹トレーニング

よさの大江山登山マラソン前日の9月17日に、加悦小学校体育館で小林祐梨子さんによる陸上教室が行われ、町内外から約70名の方が参加されました。

あいにくの雨模様で急遽体育館での開催に変更になりましたが、小林さんの明るい指導で会場は大いに賑わいました。参加者は、運動におけるウォーミングアップの重要性、適度な運動量と休息の取り方、ストレッチによる運動後の身体のケアを実感するとともに、心地よい汗を流しながら楽しんでいました。



怪我をしないためのウォーミングアップ

8月の可燃ごみ・雑誌（雑がみ）排出量の報告

シリーズ⑭ ごみについて考える 問 住民環境課 ☎ 43-9030

●ごみ減量化に向けて、与謝野町が推奨している取組

①雑がみ類を分別し、可燃ごみを減らしましょう

リサイクル（♻️）マークが表示されている包装類や、新聞・チラシ類は今までどおり資源ごみに出してください。一方、雑がみの出し方は、雑誌類と同じように紐で十字に縛って出してくださいませようお願いします。

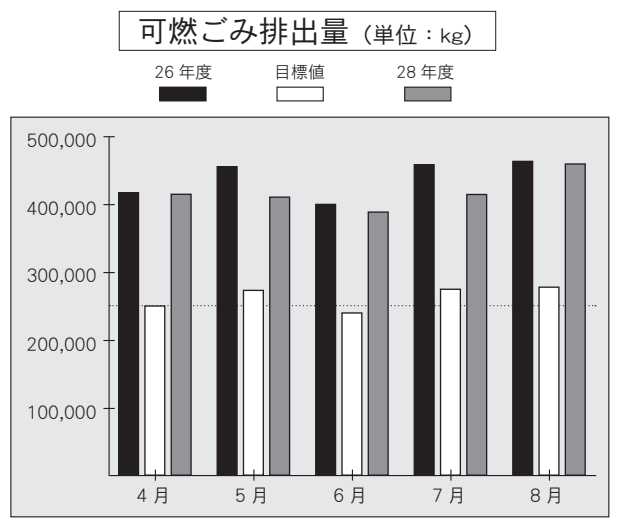
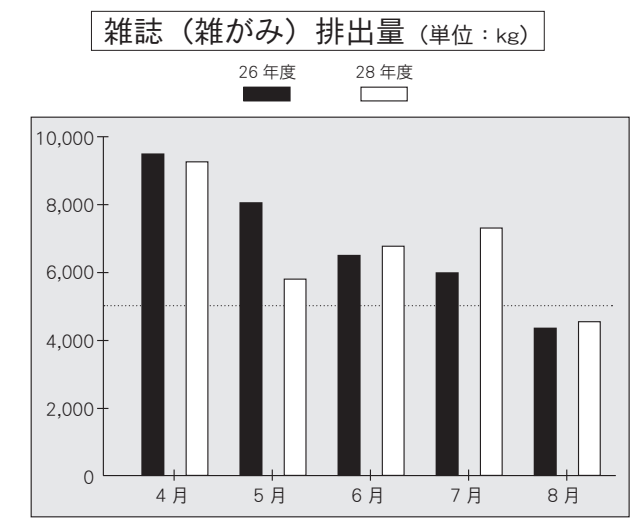
②生ごみの水分はしっかり切って出しましょう

生ごみの約8割は水分と言われています。可燃ごみとして、捨てる前にしっかり水を切ることで、可燃ごみの重さを減らせます。

③生ごみ処理容器を活用しましょう

生ごみ処理容器は生ごみを6～9割小さくすることができます。ごみ自体の量を減らせば、臭いもなく、ごみ袋代の節約にもなります。平成28年度のみ、電気式生ごみ処理機について上限14,300円まで補助を行っています。

1ヵ月の比較
平成28年8月の可燃ごみ・雑誌（雑がみ）の排出量を、減量の比較対象である平成26年度と比べて報告します。
可燃ごみは、今月はほとんど変化がありません。4月からの通算では、先月までは約6%の減量となっていました。更なるご理解・ご協力をお願いします。一方の雑誌（雑がみ）は、可燃ごみの約半分を占める雑がみの行方を示すもので、数値的には資源化の効果がありません。今一度、雑がみの分別にご協力をお願いします。



8月入札結果

問 総務課 ☎ 43-9010

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限 価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
8/8	加悦上水道大橋水管橋架設工事	加悦	7者	江笠建材㈱	5,075	4,425	4,425	87.2	H28/8/19 ~H28/12/9
8/8	土井根井埋測量設計業務委託	三河内	15者	㈱ニコス京都支店	7,440	-	6,690	89.9	H28/8/17 ~H29/3/30
8/8	与謝野町橋梁補修詳細設計業務委託	加悦他	15者	㈱アーバンバイオニア 設計福知山事務所	6,118	-	3,780	61.8	H28/8/12 ~H28/12/28
8/8	カーブミラー点検（その4）業務委託	与謝他	16者	内外エンジニアリング㈱ 京丹後営業所	2,033	-	1,590	78.2	H28/8/18 ~H28/10/31
8/24	明石川改修（その2）工事	明石	5者	石本建設㈱	26,732	23,407	23,407	87.6	H28/9/3 ~H29/3/31
8/24	有蓋40m ³ 級防火水槽新設工事（温江地区）	温江	9者	江笠建材㈱	6,743	5,886	5,886	87.3	H28/9/3 ~H28/9/30
8/24	野田川本線側溝改良（その5）工事	三河内	10者	㈱石田建設	5,235	4,532	4,532	86.6	H28/9/1 ~H28/12/23
8/24	森ノ下広田線道路改良（その4）工事	岩屋	9者	㈱石田建設	4,668	4,052	4,052	86.8	H28/9/1 ~H28/10/31
8/24	ユリ水路改良工事	弓木	9者	㈱アイフル	2,486	2,153	2,153	86.6	H28/8/31 ~H28/10/31

第2次与謝野町総合計画の策定がはじまりました

与謝野町総合計画審議会委員のご紹介 問 企画財政課 ☎ 43-9015

- まちづくりの中長期の指針である「第1次与謝野町総合計画」が平成29年度をもって計画期間満了を迎えることから、8月29日、山添町長から与謝野町総合計画審議会へ「第2次与謝野町総合計画の策定」が諮問されました。
- 新しく委嘱された委員は、次の皆様です。
（順不同・敬称略）
- 加悦地区区長 細井 正樹
 - 岩滝地区区長 橋本 孝志
 - 野田川地区区長 市田 正人
 - 与謝野町商工会 足立 経彦
 - 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社 与謝野地域本部 今井 英之
 - 与謝野町農業委員会 三田 正弘
 - 与謝野町教育委員会 樋口 潔
 - 与謝野町社会福祉協議会 福田 道徳
 - 与謝野町障害者福祉会 江原 義典
 - 与謝野町老人クラブ連合会 糸井 満雄
 - 与謝野町婦人会 藤井みさを
 - 与謝野町男女共同参画推進委員会 小池 早苗
 - 与謝野町文化協会 杉本 孝史
 - 与謝野町体育協会 岩崎 文宏
 - 与謝野町まち・ひと・しごと創生有識者会議 山崎 信之
 - 杉岡 秀紀

平成28年度 臨時福祉給付金および障害・遺族年金受給者向け給付金について

問 福祉課 ☎ 43-9021

確認じゃ！2つの給付金。

- 平成26年4月に実施した消費税率引上げに伴う影響を緩和します。
- 「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵がおよびにくい障害・遺族年金受給者の方を支援します。

与謝野町では、9月26日から平成28年度臨時福祉給付金および障害・遺族年金受給者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金）申請の受付を開始しています。給付金支給対象者には、申請書およびご案内文書をお送りしていますので、12月26日までに申請ください。申請受付中の給付金は下の2種類です。両方の給付金の支給対象者に該当される方は、どちらも受給していただけます。

平成28年度 臨時福祉給付金

支給金額 1人につき3千円

支給対象者 平成28年度分の住民税が非課税の方（課税者の被扶養者や生活保護受給者等を除きます）

※「高齢者向け給付金」を受給された方も申請できます。

障害・遺族年金 受給者向け給付金

支給金額 1人につき3万円

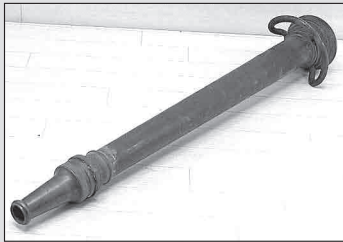
支給対象者 平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、障害基礎年金や遺族基礎年金を受給されている方

※「高齢者向け給付金」を受給された方は除きます。

問い合わせ先
 ▶福祉課社会福祉係 ☎ 43-9021 ▶厚生労働省給付金専用ダイヤル ☎ 0570-037-192
 ※「臨時福祉給付金」や「障害・遺族年金受給者向け給付金」を装う「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください。

盗難が発生しています！

消火栓ボックス内にある筒先の盗難が発生しています。不審者や不審な車を見かけた際は、警察（☎110番）へご連絡ください。



行政委員が再委嘱されました！

公平委員 総務課 ☎43-9010



植田委員(再任)

公平委員

9月14日付けで、植田宗一さん(算所)が公平委員に再委嘱されました。公平委員会とは、職員の公正な人事の保障など、職員の給与や勤務時間などの勤務条件に関する措置の審査、判定を行う機関です。

緑のカーテンコンテスト 2016 を開催しました

コンテストの選考結果 住民環境課 ☎43-9030

地球温暖化の一因となっている温室効果ガスの削減および電力不足に対する省エネ行動は、町民の皆さん一人ひとりのご協力が必要です。窓を覆う「緑のカーテン」は、夏の日差しを和らげ、家の中の温度を約3℃下げる効果があると言われていています。町とよさの百年の暮らし委員会(愛称みらいふ)では、地球温暖化対策の一環として、CO2排出量の削減を促進するため、町民の皆さんが取り組みやすく、CO2削減効果の高い「緑のカーテン」について、設置の促進による省エネの取組を進めるため「緑のカーテンコンテスト」を実施しました。コンテストは応募の中から最優秀作品など次の3点を選考しました。応募者のコメントには、子どもが小学生の頃の宿題で育てたアサガオから種を取って、それ以来20年間、アサガオによる緑のカーテンを育てている。また、冷房の使用頻度が減り電気代が節約できた、生ごみを利用して培養土を作って使用したなど、皆さんが思い思いに、楽しんでい



安田産業株式会社



葉賀吾市さん

る様子が伺えました。町民の皆さん、来年の夏は「緑のカーテン」にチャレンジしてみてください。

【選考結果】

- 個人の部
▼最優秀賞 葉賀吾市氏(金屋)
- ▼優秀賞 細野宜生氏(後野)
- 事業所等の部
▼最優秀賞 安田産業株式会社 (岩滝)

老人医療費助成制度(マル老)のご案内について

老人医療費助成制度は、65歳から69歳の高齢者の方を対象とした医療費の自己負担額を助成する制度です。高齢者の健康保持と増進を目的とし、医療機関で受診された場合の自己負担(3割)が2割負担になる制度です。福祉医療費受給者証の交付には申請書の提出と一定の審査が必要です。詳しくは、保健課福祉医療係(☎43・9022)までお問い合わせください。

【認定要件】

- 平成27年8月以降に65歳になられた方、これから65歳になる方(新制度対象者)
▼本人と生計中心者(最多所得者)が所得税非課税であること
- 平成27年7月以前に65歳になられた方(旧制度対象者)
▼次の①または②のいずれかであること
①:65歳から69歳の高齢者の方(対象者が60歳未満の方(子など)と同居している場合は、本人と同居の扶養義務者(配偶者や子のうち最も所得が多い者)の所得が本制度の所得基準額未満であること
②:対象者の世帯が60歳以上で構成されている高齢者世帯や単身世帯である場合は、本人と同居の扶養義務者(配偶者や子のうち最も所得が多い者)の所得が本制度の所得基準額未満であること
※平成27年8月の制度改正に伴い、対象者の年齢によって認定要件が異なります。



避難所に係る施設利用に関する協定を締結しました

防災安全課 ☎43-9011



日本冶金工業株式会社 山添町長(右) 小野寺所長(左)

与謝野町と日本冶金工業株式会社大江山製造所は避難所に係る施設利用に関する協定を締結しました。浜町区の野田住宅地域は、阿蘇海に面し、野田川河口の右岸に隣接し、かつ土地が低いといった立地条件から、地震発生時の津波や大雨等による洪水発生リスクが高い地域です。協定書では、有事に備え、隣接する日本冶金工業株式会社大江山製造所を避難所として施設利用する事項を取り決めていきます。これからの、両者が安心・安全の取り組み、まちづくりの取り組みの良きパートナーとして協力を重ねてまいります。

災害時における良きパートナーとして、安心・安全なまちづくりに貢献していただくことになりました



災害時における一般廃棄物収集運搬業務に関する無償応援協定を締結しました

防災安全課 ☎43-9011



おのえ株式会社 尾上社長(右) 山添町長(左)

9月8日、与謝野町とおのえ株式会社は災害時における一般廃棄物収集運搬業務に関する無償応援協定を締結しました。この協定は、町内において発生した災害時におけるごみ、し尿および浄化槽汚泥の収集運搬ならびに浄化槽汚泥の清掃業務の町からの要請に対し、おのえ株式会社による無償応援の内容を定めたものです。与謝野町では、おのえ株式会社とともに、安心・安全を取り組む良きパートナーとして、緊急を有する災害時に備えたまちづくりの協力体制を築いてまいります。

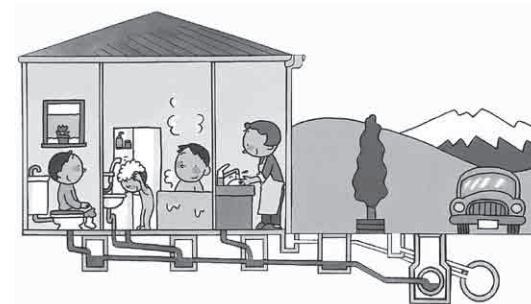
災害時における良きパートナーとして、安心・安全なまちづくりに貢献していただくことになりました



水道・下水道料金の見直しを始めました

上下水道課 ☎43-9031

水道・下水道料金の見直しについて、与謝野町上下水道審議会に諮問しました。上下水道事業は、本来、使用者のみなさまから納めていただく水道料金・下水道使用料によって運営する独立採算が原則となっています。しかしながら、水道事業は、これまでの整備で多額の公債費(借金)を抱えているうえに、人口減少、少子高齢化が進み、加えて節水機器の普及など水需要は年々減少しており、経営は極めて厳しい状況です。このままでは、浄水場や水道管などの維持管理費用が不足するとともに、次の大きな施設改修が必要になる頃には、企業債(借金)を起こそうにも返済すらできなくなる見込みで、今から少しずつも財源の確保に努める必要があります。また、下水道事業はさらに経営状況が悪く、本来、下水道使用料で賄わなければならない3億円を超える経費を一般会計から毎年補填しており、そのために町財政が大きく圧迫されている状況で、早急に経営の改善を図らなければなりません。



これらの状況を踏まえ、町では6月から与謝野町上下水道審議会に上下水道事業の現状や将来見直しについて説明を重ね、去る8月22日に山添町長から与謝野町上下水道審議会に対して、上下水道事業の持続可能な運営基盤をつくるための「与謝野町水道料金、下水道使用料および農業集落排水施設使用料の改定について」諮問をいたしました。今後、同審議会において、これからの上下水道事業がどうあるべきかを含め、持続可能な運営基盤をつくるために必要な料金・使用料について審議が始まります。

訂正とお詫び

9月23日以降に各戸配布した「平成28年度与謝野町文化祭月間案内速報」チラシの11月5日・6日の「明石区文化祭」の会場名に誤りがありました。以下のとおり、訂正してお詫びいたします。
■正しくは「明石地区公民館」

与謝野町役場

☎ 43-9000 (代表)

総務課

☎ 43-9010

防災安全課

☎ 43-9011

商工観光課

☎ 43-9012

会計室

☎ 43-9013

建設課

☎ 43-9014

企画財政課

☎ 43-9015

加悦庁舎

☎ 43-9001 (代表)

税務課

☎ 43-9020

福祉課

☎ 43-9021

保健課

☎ 43-9022

農林課

☎ 43-9023

子育て応援課

☎ 43-9024

教育委員会 学校教育課

☎ 43-9025

教育委員会 社会教育課

☎ 43-9026

議会事務局

☎ 43-9027

CATVセンター

☎ 43-9028

野田川庁舎

☎ 43-9002 (代表)

住民環境課

☎ 43-9030

上下水道課

☎ 43-9031



地域おこし協力隊通信⑭

よさの移住コンシェルジュ 中村 幸資 隊員 企画財政課 ☎ 43-9015

初めまして。9月に地域おこし協力隊として与謝野町に着任しました中村幸資と申します。
私は生まれも育ちも京都市内で、大学で大阪に出たものの、生活の中心は京都でした。高校まではいったって普通の人生を歩んでいましたが、大学から心境の変化があり、大学1回生の時に「議員インターンシップ」という政治家さんのアシスタントという形で議員さんの様々な活動に同行しました。それからオーストラリアに海外一人旅をしたことをキッカケに、海外に興味を持つようになり、大学在学中に1年間休学をしてアメリカ留学を経験いたしました。留学中は、様々な文化や宗教を持った人達と会うことで、世界には色々な人がいて、考え方や感じ方も十人十色。日本で育まれた価値観が全てではないことを肌で感じました。

その他「農業インターンシップ」にも参加し農業のイロハを学びました。仕事の経歴としては、飲食店の店員やスポーツ・アウトドアの販売員、化粧品品の営業事務等をしてまいりました。どの仕事も楽しくやりがいを持っていました。のですが、どこか釈然としたい所があり「もっと面白い仕事がしたい」と思い、転職活動をしているなかで、与謝野町の「移住コンシェルジュ」という仕事に出会いました。
与謝野町がある京都北部には夏にキャンプや海水浴でよく訪れていたのが、個人的にも非常に親近感があり、海・山・森の自然豊かな与謝野町は、都会の喧騒を忘れることのできる「心のオアシス」だと感じていました。

これまでの仕事や様々な経験を通して、どんなことにも失敗を恐れず積極的にチャレンジし人間として成長してきたので、与謝野町に移住・定住を希望する方の住居や店舗として使っていただくという方法が



中村 幸資 新隊員

あります。この方法をよりよいものとして実現するために、与謝野町での仕事や生活が魅力的で快適なものではなくてはなりません。その一番の原動力は「一人」だと思えます。その土地に住んでいる住民の方がどういう町にしたいのか、未来の与謝野町だと考えています。
着任したばかりで分からないことに加え、少し人見知りの性格ですが、いち早く一人前の移住コンシェルジュとなり、地域の皆様と共に新しい与謝野町を創っていきたくと思っていますので、どうぞよろしく願っています。



与謝野町空き家リノベーション実践塾を開催します

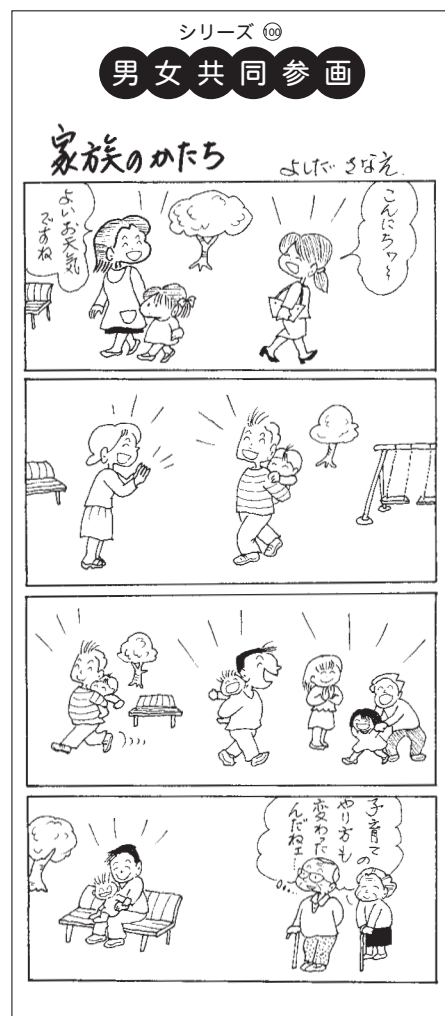
空き家の繕い ～よさの暮らしの作り方～ 企画財政課 ☎ 43-9015

与謝野町では、地域資源となりえる空き家の可能性について古民家を繕うための知恵や技術を掘り下げることで、地域内外で空き家を活用する際にみんなが協力・応援し合うことができる仕組みとして、「空き家の繕いよさの暮らしの作り方」(全4回)を計画しています。
空き家を所有されている方やスモールビジネスなど様々な形態で起業を考えている方、移住を考えている方などを対象に、空き家の活用を地域目線で学ぶ「まちあるきプログラム」、空き家活用実践者による「ゲストトーク」、空き家活用や起業、移住に関する意見交換をする「トークセッション」を開催します。
町内ですでに空き家を活用して事業をされている方の経験談を聞きながら、これから事業をしようとする方が空き家の活用をしていくにあたってのイメージ作りや、参加者同士が繋がりを持ち、助け合いながら、本町だからこそ実現できる仕事と暮らしの方法をみんなで一緒に考えていく機会としています。

空家の繕いVOL.1
よさの暮らしの作り方
日時 10月22日(土)
第1部 午後1時半〜5時
◇内容
第1部は「一般向けコース」として、空き家をリノベーションしてカフェを経営されている「四季菜きはら」を拠点に、金屋区でのまちあるきを通して、地域に密着した視点から空き家活用し、カフェを運営している木原さんの空き家活用の視点を学ぶミニワークを実施します。
第2部 午後6時〜9時
◇内容
第2部「マニアックコース」は、一般向けコースよりも

実践的な内容で、空き家活用に必要ノウハウをシェアするトークセッションを通して、空き家活用について気軽に意見交換できる場を設けます。
▼対象者 移住、起業を検討されている方、空き家を所有されている方など
▼参加費 (飲食費込み)
◇第1部 1000円
◇第2部 2500円
▼定員 20名
▼会場 四季菜きはら
▼開 10月17日(月)
まで、企画財政課 ☎ 43-9015または、よさのIJU相談・交流窓口 ☎ 080-8521-7019までお申し込みください。

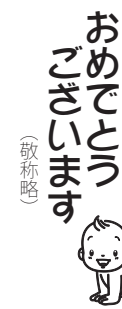
知遊館からのお知らせ！
「真下秀美 作陶展」を開催します
■期 間 10月23日(日)~11月27日(日) 午前9時~午後5時 (入場無料・月曜休館)
講座「自分史を綴ろう」参加者の募集
■受講費 無料
■申込方法 10月14日(金)までに、申込用紙にご記入のうえ知遊館までファックス
※詳しくは 知遊館、中央公民館、加悦地域公民館に配架の募集チラシをご覧ください。
◎問い合わせ先 TEL 46-2451/FAX 46-0050



町内に配布している
広報誌には掲載しています



町内に配布している
広報誌には掲載しています



まちのうごき
平成28年8月末現在
人口 22,725人 (-11)
男 10,807人 (-4)
女 11,918人 (-7)
世帯数 9,120戸 (-7)
※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、8月16日から9月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

【企画財政課】
「でも町長室」を開催します

住民の方との意見交換や交流を通して、町政やまちづくり等に反映させることを目的とした「でも町長室」を開催します。

日時 10月31日(月) 正午～午後1時半(都合により時間が短縮されることもあります)

対象 原則町内に在住または在勤する方で構成された団体・個人(おむね10名前後、申し込み多数の場合は先着順。)

その他 要望陳情の場ではありません。

日時 10月27日(木) 午後5時までに企画財政課☎43・9015へ。kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp

「化祭」を開催します

■書道・絵手紙展

日時 10月7日(金)～20日(木) 午前9時～午後6時(月曜休館)

内容 センターを利用されている方々の書道や絵手紙の作品を展示します。

日時 11月3日(木・祝) 午後1時～3時

場所 宮津与謝聴覚言語障害者地域活動支援センター「あいだび」

障がい児・障がい者ふれあいの集いの案内

与謝野町社会福祉協議会では、障がいを持つ皆さんとふれあう交流会を開催します。

マザーズジョブカフェ巡回相談のお知らせ

京都ジョブパーク「マザーズジョブカフェ」では、働きたい女性・働くママを応援する巡回相談を府内のハローワークで実施しています。

日時 午前10時～午後4時

時間 午前10時～午後4時

京都府では、男女が社会の対等な構成員として、輝くことができる男女共同参画社会をめざして、「第28回KYOのあけぼのフェス」を開催します

ふれあいボウリング大会および昼食交流会(レクリエーション有)

日時 10月25日(火)までに、住所氏名、電話番号、援助員必要の有無、乗車希望場所等をお知らせください。

会場 プラザ・アピア峰山およびシティホテル峰山(送迎有り)

【保健課】
高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種「高齢者インフルエンザ予防接種」を実施します。

対象者 接種日において与謝野町民であって、①満65歳以上の方

テイル2016」を開催します。

日時 10月29日(土) 午前10時～午後3時

内容 【午前】同志社大學慶援團チアリーダー部によるオープニング・あけぼのバザール・京都府あけぼの賞表彰式・女性活躍による地域創生取組事例発表【午後】ワークシヨップ・男女共同参画推進のための世代間交流ワールドカフェ等

時間 午前10時～午後4時

与謝野町議会では、議会室活動を知っていただくとともに、ご意見を伺うため、次の日程で町民の皆さんとの意見交換を行います。

【保健課】
よさのウォーキングスクール参加者の募集

運動のきっかけづくりと、効果的なからだづくりの方法を知るウォーキングスクールを開催します。

日時 12月4日(日) 午前8時半～正午

【社会教育課】
第11回与謝野町ビーチボール大会を開催します

10月21日(金)～11月18日(金)の期間に、教育委員会・町立体育館・小中学校体育館にある申込用紙に記入いただき社会教育課へご持参ください。

日時 10月21日(金)～11月18日(金)

午後7時半～、金屋地区公民館

午後7時半～、加悦奥地区公民館

午後7時半～、算所会館

午後7時半～、浜町会館

午後7時半～、東町会館

【保健課】
京都府立医科大学附属北部医療センター救急診療の休診のお知らせ

10月23日(日) 午前8時半から午後5時まで、受変電設備の精密検査を実施するため全館停電になります。

日時 10月23日(日) 午前10時～午後3時半

【福祉課】
「書道・絵手紙展」「あいだび」

10月17日(月)から23日(日)は全国一斉「行政相談週間」です。

日時 10月17日(月)から23日(日)

午後3時半

女性創業セミナーを開催します

与謝野町商工会では「地域とわたしを元気にする。想いをかなえる一歩ふみだしませんか」のテーマで、起業を考えている女性の方を対象とした創業セミナーを全7回実施します。

日時 10月30日(日)～12月18日(日)

場所 与謝野町商工会他

【住民環境課】
「行政相談週間」相談所の開設のお知らせ

10月17日(月)から23日(日)は全国一斉「行政相談週間」です。

日時 10月18日(火) 社協野田川支所

内容 第1回～第3回：トークおよびワーク

対象者 起業に興味がある方他 定員 20名

第11回よさの大江山登山マラソン 873人のランナーが駆け抜ける！

1/元気にスタートするキッズランナー 2/選手宣誓をする参加者 3/手を繋いで仲良くスタート 4/声をかけながら並走するゲストランナーの小林祐梨子さん 5/岩場のある険しい山道走る 6/山頂まであと少し 7/加悦谷平野を見下ろしながら折り返す 8/大江山山頂を目指し一気に駆け抜ける



1



3



2



4



5



7



6



8

「第11回よさの大江山登山マラソン」が、9月18日に大江山運動公園グラウンドをスタート・ゴールに開催されました。

大会当日は台風の接近にともなう雨が予想されましたが、大きな天候の変化もなく無事に競技をスタート。大江山縦走コース(23.5km)の部に457人、ちりめん街道コース(10km)の部には243人、チャレンジコースの部(3.5km)は173人の総勢873人が出場し、与謝野路をランナーが駆け抜けました。

今大会も昨年度同様にゲストランナーとして小林祐梨子さんを迎え、ちりめん街道コースを参加者の皆さんと一緒に走りました。小林さんは持ち前の明るい性格で、参加ランナーに声をかけながら並走し、参加ランナーを鼓舞していました。

天候が危ぶまれた今大会ですが、沿道には多くの人が集まり、参加ランナーたちは大きな声援のなか、ちりめん街道・古墳公園を巡るコースで与謝野町の町並みを楽しみながらゴールを目指しました。

各コース、各部門の大会結果(各部門1位のみ)は下記のとおり。

大会結果

(各部門1位のみ・敬称略)

- 1部 23・5 km / 男子39歳以下
和田 優一 (大阪府)
- 2部 23・5 km / 男子40歳以上・49歳以下
井上 孝信 (兵庫県)
- 3部 23・5 km / 男子50歳以上
近江 忠仁 (京都市)
- 4部 23・5 km / 女子39歳以下
吉住 友里 (大阪府)
- 5部 23・5 km / 女子40歳以上
中村 美穂 (兵庫県)
- 6部 10・0 km / 男子39歳以下
岡野 徹 (兵庫県)
- 7部 10・0 km / 男子40歳以上
大木 一範 (宮津市)
- 8部 10・0 km / 女子39歳以下
山崎 夢乃 (与謝野町)
- 9部 10・0 km / 女子40歳以上
高橋 幸代 (兵庫県)

